

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	妙琴浄水場施設整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	水道課		包含する細々目	70	4	1	1		99		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり												
施策	45 居住基盤の向上												
実施区分	18終了	会計	水道	環境調整会議	不要	関連計画条例等		水道法 飯田市水道条例					
		事業期間	17	年度～	18	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	妙琴浄水場内の整備、改修を要する施設	施設整備箇所数 (箇所)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
		施設改修箇所数 (箇所)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			3			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	妙琴浄水場の安定した運転を確保し、飲料水の安定供給を計る。	施設の整備率 (%)	18目標	最終目標	100	18
施設整備箇所数/整備する施設数		18実績	19目標		↑	
		23目標	23実績		最終目標達成年度	
施設の改修率 (%)		18目標	50	最終目標		
	施設改修箇所数/改修する施設数	18実績	50	19目標	↑	
		23目標	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	妙琴浄水場において、原水の状況が低アルカリ度・高濁度の場合にも浄水能力を確保するための施設整備と、老朽化したフロク形成池内のフロキュレーターの改修を実施する。 ・ソーダ灰注入設備工事 1ヶ所 ・原水濁度計設置工事 1ヶ所 ・次亜注入自動化工事 1式 ・フロキュレーター改修工事 6ヶ所 (急速ろ過池改修事業に続く、機能維持のための整備事業)	妙琴浄水場 ・フロキュレーター改修工事 3ヶ所	・フロキュレーター改修ヶ所	3
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	10,605	0
一般財源			
事業費計(A)	10,605	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 150	19年度 0
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	536	0
	トータルコストA+B	11,141	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	給水区域に安全な水道水の安定供給が図れる。	安定した供給量 (m3/日) (目標は30,000m3/日)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>妙琴浄水場は、昭和48年8月完成以来31年を経過しており、建設当時とは原水の水質も変化しているとともに、水道水の水質基準も厳しくなっている。原水が高濁度、低アルカリ度の場合でも浄水能力を確保するための施設整備、フロック形成池内の老朽化したフロキュレーターの改修を実施し、市民へ安心して飲める水道水の安定供給を図る。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>施設の老朽化が進むとともに、原水の水質の変化や水道水の水質基準が厳しくなっている。汚泥処理についても厳しくなっている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>水道水の安全性と安定供給が市民から求められている。</p>
--	---	---

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由) 浄水場の機能低下が進む。(安定供給不可)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <input checked="" type="checkbox"/> 必要ある (その理由) 市民生活に直結する事業であり、水道法により地方公共団体の関与が規定されている。		効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input checked="" type="checkbox"/> 可能 (その理由) 工事費のコスト縮減を図る。
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由) 水道受益者が、水道使用料金及び加入者負担金で賄う。

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text" value="18"/> 具体化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>機能回復のための最小限の工事にとどめ、長期整備計画の中で更新計画を策定する。</p> <p>PFI導入可能性調査を行って、整備方策を検討する。</p>
---	--

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	